

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2003-121030(P2003-121030A)

【公開日】平成15年4月23日(2003.4.23)

【出願番号】特願2001-312450(P2001-312450)

【国際特許分類第7版】

F 2 5 B 41/06

F 1 6 K 17/38

F 1 6 K 31/68

【F I】

F 2 5 B 41/06 P

F 2 5 B 41/06 Z

F 1 6 K 17/38 Z

F 1 6 K 31/68 S

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月8日(2004.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

導入された高圧の冷媒を断熱膨張して蒸発器に送り出す第1の流路、及び前記蒸発器からの冷媒が通る第2の流路と同じ本体ブロック内に形成した膨張弁において、

前記第1の流路の途中に形成された弁座に対向して配置した弁体と、

前記弁体を前記第2の流路内の冷媒温度及び圧力に応じて前記弁座に対して接離する方向へ付勢するパワーエレメントと、

前記弁体を前記弁座の方向に付勢する圧縮コイルスプリングと、

前記第1の流路の高圧の冷媒が導入される側と連通して形成された前記本体ブロックの開口部に前記圧縮コイルスプリングの前記弁体とは反対側の固定端を受けるように螺着されて、導入された高圧の冷媒の圧力を感知する圧力センサと、

を備え、

前記圧縮コイルスプリングは、その荷重を前記圧力センサのねじ込み量により調節するようにしたことを特徴とする膨張弁。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記問題を解決するために、導入された高圧の冷媒を断熱膨張して蒸発器に送り出す第1の流路、及び前記蒸発器からの冷媒が通る第2の流路と同じ本体ブロック内に形成した膨張弁において、前記第1の流路の途中に形成された弁座に対向して配置した弁体と、前記弁体を前記第2の流路内の冷媒温度及び圧力に応じて前記弁座に対して接離する方向へ付勢するパワーエレメントと、前記弁体を前記弁座の方向に付勢する圧縮コイルスプリングと、前記第1の流路の高圧の冷媒が導入される側と連通して形成された前記

本体ブロックの開口部に前記圧縮コイルスプリングの前記弁体とは反対側の固定端を受けるように螺着されて、導入された高圧の冷媒の圧力を感知する圧力センサと、を備え、前記圧縮コイルスプリングは、その荷重を前記圧力センサのねじ込み量により調節するようとしたことを特徴とする膨張弁が提供される。